

# 2018(平成30)年度 活動・事業報告

## 8つの柱の活動・事業の振り返り(まとめ)

### 第1の柱 ー会員組織を強め、会員活動を豊かにするために

#### 1. 利用会員は55人入会しました。

(1) 昨年と比べ協力会員の入会が計画通りに進みませんでした。従来からのおさそい活動では参加が少なく、ボランティア説明会の方式について見直しが必要です。

No.	種別	2018年度 入会数	2018年度 期末在籍数	2017年度 入会数	2017年度 期末在籍数
1	ふれあい会員(利用会員)	55	255	65	276
2	正会員(協力会員)	14	131	30	150
3	賛助会員	1	28	4	26
4	合計	70	414	99	452

#### 2. 会員活動を多彩に取り組みました。

(1) 毎月の誕生会、春のお出かけ(水元公園・柴又散策)、敬老会、新年会など会員交流活動を行いました。

(2) 会員研修活動として、新入会員研修会、運転者研修会を行いました。

(3) 会設立20周年事業として「設立20周年記念ー感謝のつどい」を森のホール21レセプションホールで開催。会員、来賓など130人の参加がありました。

項目	開催月	参加人数
新事務所お披露目会	4月	66
春のお出かけ(水元公園・柴又散策)	4月	19
ふれあい敬老会	9月	42
設立20周年記念ー感謝のつどい	11月	130
ふれあい新年会	1月	43
お誕生日会	毎月	71
合計		371

## 第2の柱-たすけあい活動のシステム改善・運営への会員参加

### 1. たすけあい活動(有償ボランティア)は、ほぼ昨年と同じ時間数に。

- (1) たすけあい活動の中核である有償ボランティア活動(ふれあいサービス)の事務局の作業について、新たなシステムを導入、抜本的な改善を図りました。
- (2) 活動時間数では、ふれあいサービスは前年並みでした。

種類		2018 実績	2017 実績	前年 増減	前年 対比
利用者数 (人)	移動サービス	935	756	179	123%
	生活援助サービス	330	225	105	146%
	<b>合計</b>	<b>1265</b>	<b>981</b>	<b>284</b>	<b>128%</b>
協力者数 (人)	移動サービス	299	353	△54	84%
	生活援助サービス	234	211	23	110%
	<b>合計</b>	<b>533</b>	<b>564</b>	<b>△31</b>	<b>94%</b>
時間数 (時間)	移動サービス	3919	3851	68	101%
	生活援助サービス	1113	885	228	125%
	<b>合計</b>	<b>5032</b>	<b>4736</b>	<b>296</b>	<b>106%</b>

## 第3の柱 — 制度サービスは包括的視点の強化を図る

- (1) 訪問介護は担い手不足が解消できず、新規受け入れをセーブせざるを得なかったため、利用者・時間数とも前年並みの実績となりました。
- (2) 障がい福祉サービスは、障がいの特性に対応できるスタッフの確保が難しく、2019年4月末をもって移動支援、居宅介護・重度訪問の3サービスを休止しました。
- (3) 介護保険、障がい者総合支援とも、相談支援業務(ケアプラン)の質の向上と量的拡大を目的に取り組み、ほぼ目標通りの成果を収めました。

### (制度サービス)

種別	活動(提供)時間数				利用人数			
	2018	2017	前年増減	前年対比	2018	2017	前年増減	前年対比
居宅介護支援					1804	1418	386	127%
訪問介護	3539.4	3341	198.4	105%	551	493	58	111%
障がい福祉	1215.5	1292	△76.5	94%	103	111	△8	92%
合計	4754.9	4633	121.9	102%	2450	2022	436	121%

## 第4の柱 - ふれあいの居場所みんなんち活動

1. 広がった場所を活かして、6月より新たな「ふれあいの居場所みんなんち」として活動を再開しました。
2. 講座やイベントなども多彩に実施しました。

	開催日	回数	参加人数
歌声喫茶	第1金曜日	9	74
折り紙講座	第2火曜日	10	60
手芸教室	第3火曜日	9	35
がんばるん体操	第3火曜日	10	26
お茶の文化	第4火曜日	10	28
健康麻雀	毎週木曜日	37	266
コンサート等	主に月曜日	6	86
暮らしの保健室	金曜日		107
合計			575

3. 「暮らしの保健室」を毎週金曜日開催。認知症サポーター養成講座、心肺蘇生とAED講座、認知症家族サポートサロンを行い、保健・介護・福祉・医療の相談窓口として気軽に相談できる「保健室」を目指しました。

	開催月	参加人数
100円グッズでできる介護予防	6月	10
認知症サポーター養成講座	7月	7
救急救命講習	8月	8
個別相談	9月	1
高次機能障害カフェ	10月	26
高齢者向け施設の選び方	11月	10
転倒予防体操	12月	4
ライフエンディングセミナー	1月	10
夢かるた	2月	8
栄養バランスを考えた食事のススメ	3月	8
認知症家族サポートサロン	11月～	15
合計		107

4. ふれあいの居場所みんなんちを会場に、多世代交流イベント「えがお集まるみんなんち」を2回開催。市内の子ども食堂2団体との協働活動が強まりました。
5. 地域の住民が地域の課題を認識し、自分たちで解決することを目指した常盤平地域づくりフォーラ

ムに参加し、高齢者疑似体験などを行いました。

6. 市内のNPO、市民団体が、その活動を広く市民にアピールする「みらいフェスタ」に、参加しました。

## 第5の柱 - 新事業の検討と準備

1. 小規模多機能を中心に様々な視点から検討をしてきましたが、今後は小規模に絞らず、ふれあいネットまつどにふさわしいサービス業態について幅広く検討を進め、2019年末には結論を出したい。

## 第6の柱 - 教育・研修活動の強化

1. 福祉有償運送運転者講習会を1回、元気シニアの活躍サポート研修会を4回開催しました。

(1) 福祉・介護の人材養成事業として、福祉有償運送運転者講習会を1回、元気シニアの活躍サポート研修会などを4回開催、83人を養成しました。

項目	開催月	参加人数
福祉有償運送運転者講習会	5月	21
元気シニア活躍サポート研修会(移動サービスコース)	11月	28
元気シニア活躍サポート研修会(生活支援コース)	11月	9
元気シニア活躍サポート研修会(サロン・居場所コース)	11月	7
元気シニア活躍サポート研修会(移動サービスコース)	2月	18
合計		83

## 第7の柱 - 東日本大震災被災者支援活動

1. 被災者自身の活動としてサロンの運営が軌道に(宮城県東松島市)

(1) 宮城県東松島市被災者支援・交流活動として、牛網地区においてコミュニティサロン「東松島みんなんち」が設立されて2年。サロン、百歳体操や裂き織り教室、を毎月開催(延べ167人参加)、地域コミュニティ再生に役立つ活動になっています。ふれあいネットまつどからは、毎月事務局、役員が支援に入っています。

(2) 9月には、「学びと交流のボランティアバスツアー」を開催。マイクロバスで「東松島ふれあいの居場所みんなんち」を訪れ、交流しました。

2. 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトの取り組み

千葉県東葛地域の広域避難者に対する支援活動を、東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト事務局団体として、避難者交流サロン黄色いハンカチを拠点に取り組みました。4月に開設場所を松戸市小金地区に移転し、あらたな防災カフェの運営を目指して活動してきました。

---

## 第8の柱 - 事務局機能の強化

1. 事務局スタッフの処遇改善を実施したが、引き続き世間相場との差を縮めるようにしていきたい。
2. 助成金・補助金への依存構造の改善は、進んでいない。収益事業の抜本的拡大が急務です